

上川北部地域リハビリテーション広域支援センター

①活動目標, 事業実績および予定, 活動の達成度

<活動目標>

安心して暮らせる街づくり（切れ目のない地域リハビリテーションの提供）を構築していけるよう、地域リハビリの知識・技術を高めること、地域連携を深めることを大きな柱とする。

<平成 21 年度 事業実績および予定>

- ・総会 1回 7月
- ・運営会議 4回（7, 9, 12, 2月）
- ・研修会 3回 10月 名寄土別地区 POS 勉強会, 推進会議共催「片麻痺 症例発表」
27名出席
- 12月 名寄保健所, 推進会議共催「脳卒中のリハビリテーションを
考える情報交換会」56名出席
- 2月 名寄保健所, 推進会議共催「脳卒中の退院調整について（仮）」
- 2月 名寄保健所, 推進会議共催「認知症ケアについて」

- ・講師バンク 1回 12月 名寄市内町内会依頼「ふれあい：勉強会と食事会」
講師：ST 16名出席

- ・その他 ブログの開設
上川北部保健医療福祉圏域連携推進会議
生活習慣病専門部会, 歯科保健専門部会へ1名ずつ委員推薦

<活動の達成度>

- ・ネットワーク部会と保健所との共同作業で、関係職種間の「顔の見える関係」を目指して活動を開始した。（地域連携の下地づくり）
- ・今までは POS 中心の研修会がメインになっていたが、今年度から保健所と連携を取ることで、より対象を広げた中で活動が出来るようになり、地域連携に向け活動が推進されると考える。

②問題点

- ・研修会は保健所との共催で行っており、単独では費用的に難しい。
- ・地域住民にどれほど還元されているのか、判断が難しい。
- ・数年先の具体的活動が見えない。
- ・関係機関である自治体の理解度/協力度が不明瞭～こちらからの働き掛けが不足なのか？
- ・今後、道の北海道医療計画と連携をとりながら行っていくのであれば、支援センターの活動を職場や自治体などにもより理解してもらう必要があると考える。

③地域住民に向けての活動内容

- ・推進会議そのものがリハビリ関係職種を対象にしていたので、住民向けの活動はしていない。
- ・たまたま、今回講師バンクの中で活動できた。

④他の圏域への質問事項

⑤特にアピールしたい活動

⑥代表者会議の日程について

1, 2月の開催でよいと思う。
会議での3時間は長いと感じている。